



平成20年度配管設計講習会（九州会場第1回：7月8日～7月10日、関西会場：7月28日～7月30日）

水道事業体職員及び設計業者の方々、九州会場49名、関西会場48名の参加を得て、「配管設計のあらまし」、「設計・積算の実務知識」、「製図の基本」、「管路の製図演習」、「管路の積算演習」について研修を実施した。

消費税実務講座（7月14日～7月15日）

正会員及び賛助会員の事務職員の方々55名の参加を得て「国・地方公営企業の消費税」「消費税等の予算経理及び会計処理」（講師：中田ビジネスコンサルティング代表 公認会計士 中田ちず子）について研修を実施した。

第91回 機械・電気・計装専門委員会（7月16～17日）

アドバイザー（首都大学東京大学院 小泉明教授）出席のもと、水道設備における環境取組に関するアンケート調査結果の分析及び「水道設備における環境保全取組事例集」（仮称）原案の構成、記述内容などの審議を行った。

未納料金対策実務研修会（東京第1回）（7月17日～7月18日）

水道事業及び賛助会員の主に料金徴収業務に携わる方々81名の参加を得て、未納料金対策について実務を中心とした研修会を実施した。

また、グループ別のディスカッションに於いては、活発な情報交換が行われた。

第221回衛生常設調査委員会（7月18日）

1. 報告事項

- 1) 最近の水道行政について、厚生労働省滝村管理官から、今後の水質基準等の見直しの方向性などの説明を受けた。
- 2) 残留塩素管理に関する調査専門委員会から、残留塩素測定の定量下限値や、残留塩素の低減化に伴う調査などの状況について報告した。
- 3) 塩素酸対応について、石狩市から基準強化に伴う対応の報告を受けた。

2. 審議事項

日本水道協会規格「水道送・配水管更生用



無溶剤型二液エポキシ樹脂塗料（JWWA K 138:200x）」の衛生部門の改正案について審議し、了承された。

第18回水道施設に関する規格専門委員会（7月22日～23日）

前回に引き続き、JWWA G 117・118（水道用塗覆装鋼管・水道用塗覆装鋼管の異形管）の規格改正について工場立会及び審議を行った。

この規格改正案を9月中旬から約30日間日本水道協会 HP 及び日本水道会館、大阪支所、各検査事業所において公開縦覧を行う予定である。

また、規格改正案を次回開催される工務常設調査委員会に諮ることとした。

第140回水道技術管理者協議会（7月24日）

日本水道協会規格の改正及び廃止、「上水道の事故事例集」の発刊、平成20年（2008年）岩手・宮城内陸地震による水道施設等の被害状況と日本水道協会の対応、業務委託積算要領検討委員会の設置、今後の水質基準等に関する見直しの方向性などについて報告を行い、それぞれ意見交換を行った。

新任水道事業管理者研修会（7月28日～7月30日）

就任間もない事業管理者及び責任者の方々62名の参加を得て、「地方公営企業の会計方式－決算書の見方とそのポイント」、「水道事業における危機管理」、「水道事業における労働法体系並びに労務管理」、「地方公営企業の労使関係」、「水道事業と争訟」、「水道経営と料金のあり方」について、それぞれの科目に造詣の深い講師より講義が行われた。

また、研修会の最後にディスカッションが設定され、活発な情報交換が行われた。



第28回水道 GLP 認定委員会（7月29日）

豊中市上下水道局技術部水道室浄水課の水道 GLP 認定について審議を行い、水道 GLP 認定を決定した。また、(株)東海分析化学研究所（認定番号：JWWA-GLP010）及び川崎市水道局工務部水質課（認定番号：JWWA-GLP011）のサーベイランス結果について審議し、水道 GLP 認定維持を決定した。

第867回会誌編集委員会（7月29日）

本誌10月号、11月号の編集方針、投稿原稿の審査、並びに本会会長表彰有効賞の候補論文

について審議した。

JIS マーク表示制度認証授与式（7月31日）

第24回 JIS 製品認証業務判定委員会において、各申請者の初回認証判定について、適合と判定され、このうち(株)清水合金製作所、東洋ポリマー(株)の JIS 製品認証マーク表示制度・認証書授与式が行われた。

また、7月2日付けで熱間内圧クリープ試験（8,760時間）が終了し、先に開催された第12回判定委員会の結果とともに第25回 JIS 製品認証業務判定委員会による書面審議を行った結果、適合と判定された十川産業(株)東京工場についても、JIS 製品認証マーク表示制度・認証書授与式が行われた。



(株)清水合金製作所



東洋ポリマー(株)



十川産業(株)東京工場

第2回残留塩素管理に関する調査専門委員会（8月4日）

残留塩素が0.1mg/L前後の従属細菌等の状況、及び低濃度塩素による消毒効果の状況について、予備調査結果として報告があり、残留塩素測定機器の精度把握とともに本格調査をすることが確認された。また、消毒効果確認のためのアンケート調査も実施することとなった。



第172回常任理事会（8月5日）

副会長の篠田新潟市長が議長となり、はじめに報告事項「平成20年（2008年）岩手・宮城内陸地震等による水道施設等の被害状況と日本水道協会の対応」について、提出した資料に基づき事務局より詳細な説明を行い、報告のとおり了承された。

続いて議案の審議に入り、第1号議案「平成19年度日本水道協会会計決算について」、第2号議案「平成21年度日本水道協会会計予算編成について」の2件について事務局から諮り、審議の結果、原案のとおり決定した。



第2回水道の安全保障に関する検討会（8月5日）

昨年末、自由民主党政務調査会内に、我が国の水分野における国際戦略について討議する特命委員会「水の安全保障研究会」が設立されたが、本会では、水を巡る問題が様々な機会に議論されていることを踏まえ、去る6月3日に「水道の安全保障に関する検討会」を設置し、検討を進めていくこととなった。

8月5日に開催された第2回の検討会では、第1回の検討会で議論された内容をベースに、今後の検討事項の骨子案について審議した。



水道 GLP 認定証授与式（8月5日）

水道 GLP 認定委員会で認定が決定した豊中市上下水道局技術部水道室浄水課の認定証授与式を日本水道協会専務理事室において行った。



未納料金対策実務研修会（大阪会場）（8月7日～8月8日）

水道事業及び賛助会員の主に料金徴収業務に携わる方々95名の参加を得て、未納料金対策について実務を中心とした研修会を実施した。

また、グループ別のディスカッションに於いては、活発な情報交換が行われた。

第121回労務調査専門委員会（8月7日）

任期満了に伴う委員の改選後、初めての委員会開催であったことから、始めに議題①「正・副委員長互選」を上程し、委員長に福岡市水道局総務課長の岡委員が、副委員長に広島市水道局人事課長の塚本委員がそれぞれ再任された。次に情報交換事項4題について、それぞれ意見交換を行った。



第10回営業業務専門委員会（8月8日）

任期満了に伴う委員の改選後、初めての委員会開催であったことから、始めに議題①「正・副委員長の内選」を上程し、委員長に神戸市水道局総務部業務課長の上西委員が、副委員長に広島市水道局営業部営業課長の岡増委員が選任された。次に議題②「インターネットによるお客さまサービス及びコールセンターに関する調査の実施」について、上程され、審議の結果、本委員会に示された事務局案により、アンケートを実施することが決定した。その後、情報交換事項4題について、それぞれ意見交換を行った。



<お詫びと訂正>

平成20年7月号に掲載致しました品質認証センター認証登録品の品質確認実績のうち、一部に誤りがございましたので、お詫びし次のとおり訂正させていただきます。

申込者別品質確認実績（基本基準適合品）

—平成20年1月～3月【訂正分】—

54ページ「継手類」

※次の申込者の品質確認方法別の内訳の訂正

(誤)

申込者名	品質確認方法		総計
	自社	ロット	
株KVK	83,088	125,317	208,405



(正)

申込者名	品質確認方法		総計
	自社	ロット	
株KVK		208,405	208,405